

練馬区が取り組む小中一貫教育

平成28年12月20日（火）旭丘小学校
21日（水）小竹小学校

練馬区教育委員会事務局 教育振興部 教育指導課

1 練馬型小中一貫教育

(1) 練馬区の小中一貫教育への歩み

児童生徒の心理的・身体的成長の早まり
中学校第1学年での不登校の増加傾向
小学校教員と中学校教員の児童生徒理解や指導に対する考え方の違い

【練馬区立小中一貫教育設置校に関する基本方針（平成20年11月）】

【練馬区立小中一貫教育校大泉桜学園の開校（平成23年4月）】

【練馬区小中一貫推進方策（平成24年2月）】

施設一体型小中一貫教育校
施設が離れた小中学校における小中一貫教育の推進

学校教育から

6・3制採用以来に築かれた小学校と中学校で異なる学校文化

小学校教員と中学校教員の相互理解不足

児童生徒の学習面や生活面での課題を自らの校種で解決しようとする取組方法

「中1ギャップ」等の問題への対応

児童生徒を取巻く環境から

少子化

異年齢の交流の減少

学校に対する「異学年交流・体験」の求め

国の動向

学校教育法の改正による「義務教育の目標」の設定（平成19年）

小学校、中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務

教育学校」を新たな学校の種類として規定

【練馬区小中一貫教育推進方針（平成28年6月）】

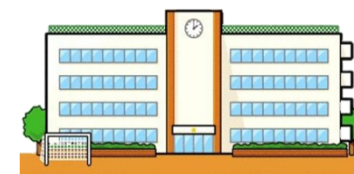
1 練馬型小中一貫教育

(2) 練馬型小中一貫教育の目指すもの

授業改善による学力・体力の向上
連携指導による豊かな人間性・社会性の育成
滑らかな接続による安定した学校生活



小中一貫教育実践校



施設一体型
小中一貫教育校

1 練馬型小中一貫教育

(2) 練馬型小中一貫教育の目指すもの

授業改善による学力・体力の向上
連携指導による豊かな人間性・社会性の育成
滑らかな接続による安定した学校生活

小中連携クリエイターの選任

連続性・系統性のある教育課程
児童・生徒の計画的・継続的な交流
教員の計画的・継続的な交流
連携を進めるための学校運営

校区別協議会

授業公開、授業参加
協議、情報共有

課題改善カリキュラムの作成・実践

教科等学習指導における連携

定期的な乗り入れ授業

児童の進学不安の緩和、学習意欲の向上
授業改善、情報共有と相互理解

児童・生徒の交流

行事、挨拶運動、児童・生徒会活動等

特別支援教育における小中一貫教育

知的障害学級段階用の作成
研究グループの指定

知的障害学級小中ブロック協議会
小中合同研修会

2 小中一貫教育校大泉桜学園での実践

(1) 異学年集団の交流と学び合い

第 期

1 ~ 4 年生



縦割り遠足



開校記念集会

第 期

5 ~ 7 年生



飯盒炊さん



防災リーダー（7年生）

第 期

8 ~ 9 年生



一斉下校訓練



交流給食

2 小中一貫教育校大泉桜学園での実践

(1) 異学年集団の交流と学び合い

第・期



児童・生徒会役員選挙



部活動

第 ~ 期



期別朝会

2 小中一貫教育校大泉桜学園での実践

(2) 指導法の工夫・改善、児童生徒の能力の伸張

第 ~



50分授業



一部教科担任制

第 ~ 期



外国語活動の充実（1年生から）



個別学習室と
少人数指導



放課後学力補充教室（4年生以上）

2 小中一貫教育校大泉桜学園での実践

(3) 人との関わりを重視した伝統・文化体験活動

第 ~ 期



稲作体験(5年生)



特別支援学校との交流教育

第 ・ 期



5年生からの室町文化体験学習



修学旅行(9年生)

2 小中一貫教育校大泉桜学園での実践

(4) 取組の検証（小中一貫教育校検証部会 検証のまとめより）

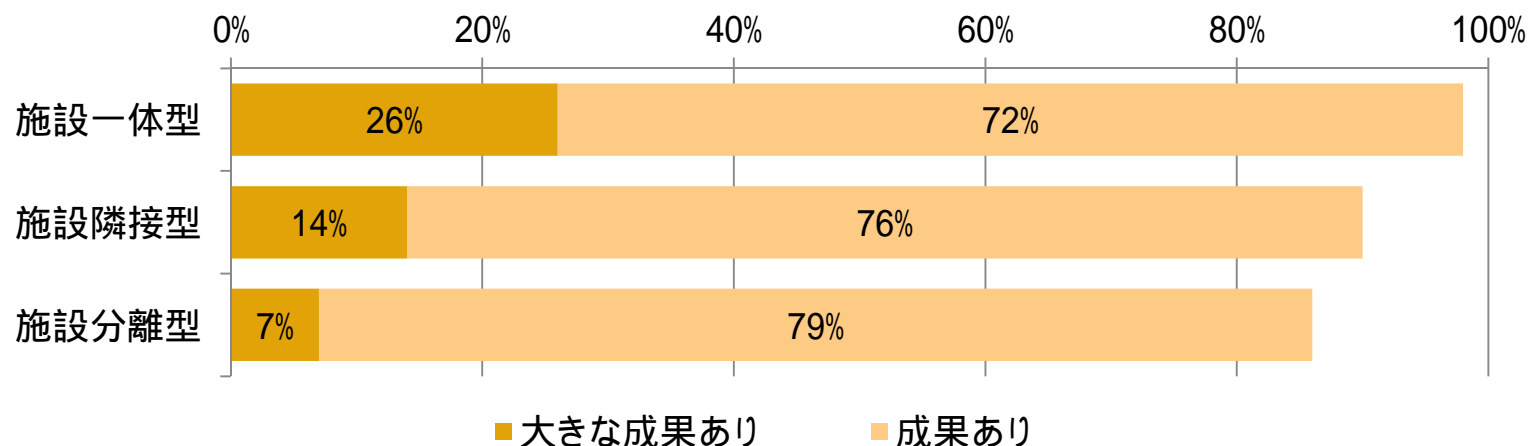
検証項目	9年間を見通した教育課程による学修指導および生活指導の充実
検証項目	小学校から中学校への円滑な移行による安定した学校生活
検証項目	幅広い異年齢集団による豊かな人間性・社会性の育成
検証項目	小中学校教員の相互協力による学力・体力の向上等の高い教育効果
検証項目	地域社会との連携による学校と地域社会の活性化
検証項目	施設整備における効果と課題
検証項目	小中一貫教育校の仕組みに関する諸課題

9年間を見通した学習指導により指導方法の工夫や改善が行われている。
全教職員による9年間を見通した適切な生活指導が行われている。
4 - 3 - 2 の区切りに応じて子供たちの成長が見られる。
小学校高学年からの一部教科担任制などにより中1ギャップが緩和されている。
小中学校教員の協力指導により安定した学校生活が実現されている。
合同行事や異学年交流で下級生が上級生を目標にしたり上級生が下級生の目標になるうとしたりして自己有用感を高めている。

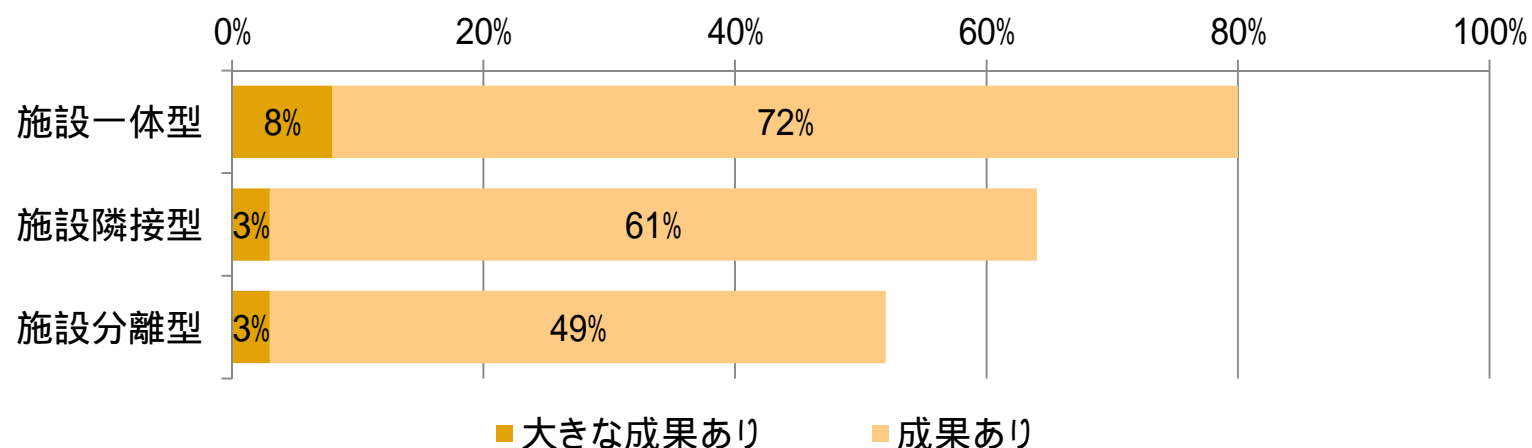
3 小中一貫教育等についての実態調査の結果

総合評価

「小中一貫教育等についての実態調査の結果」文部科学省初等中等教育局

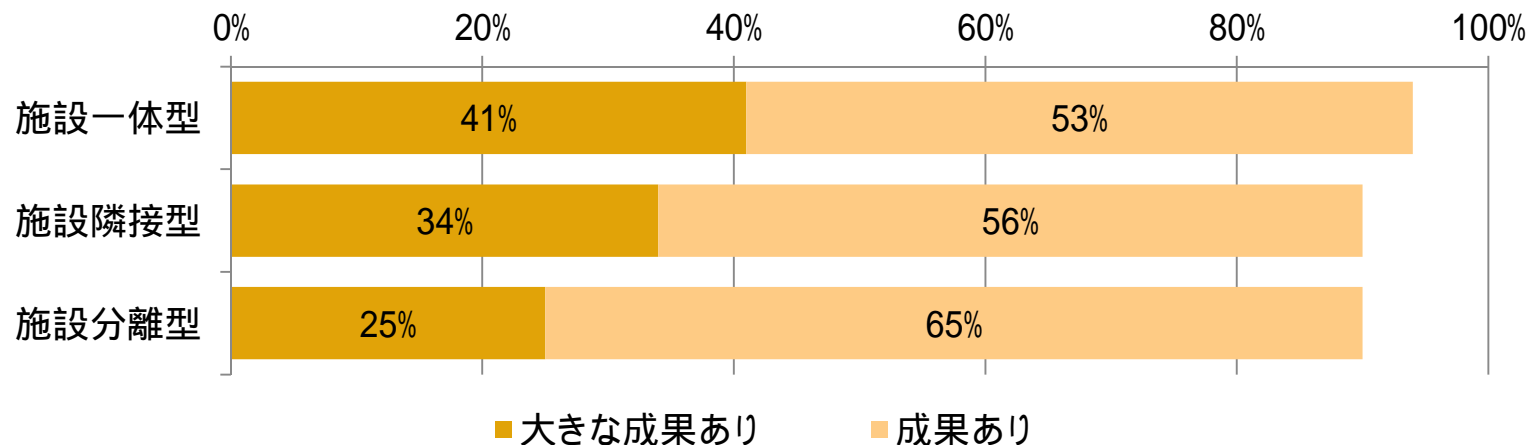


授業が理解できると答える児童生徒が増えた

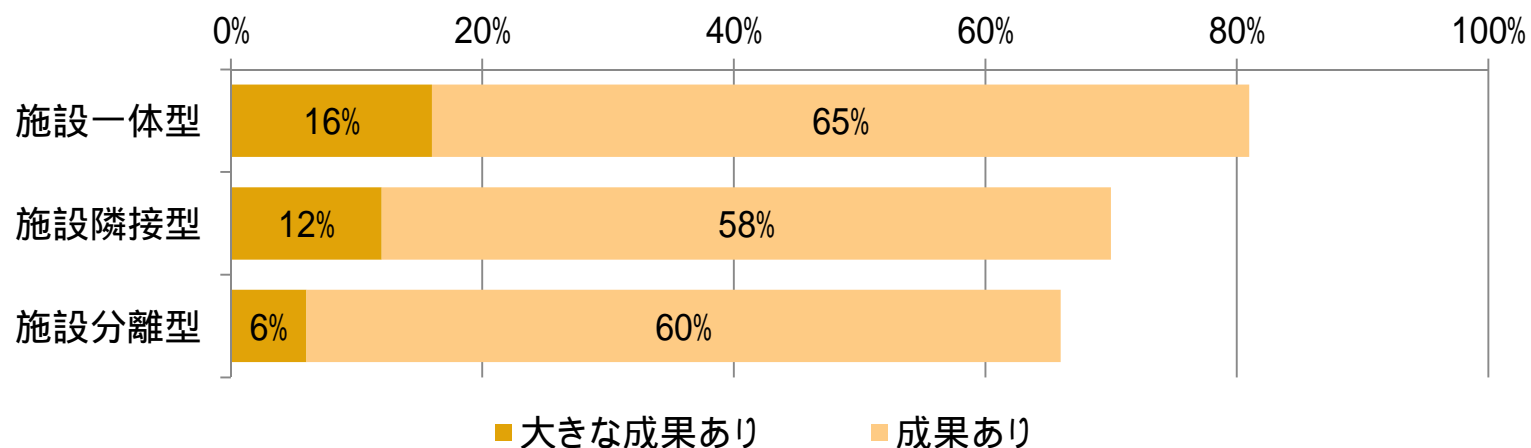


3 小中一貫教育等についての実態調査の結果

中学校への進学に不安を感じる児童が減少した

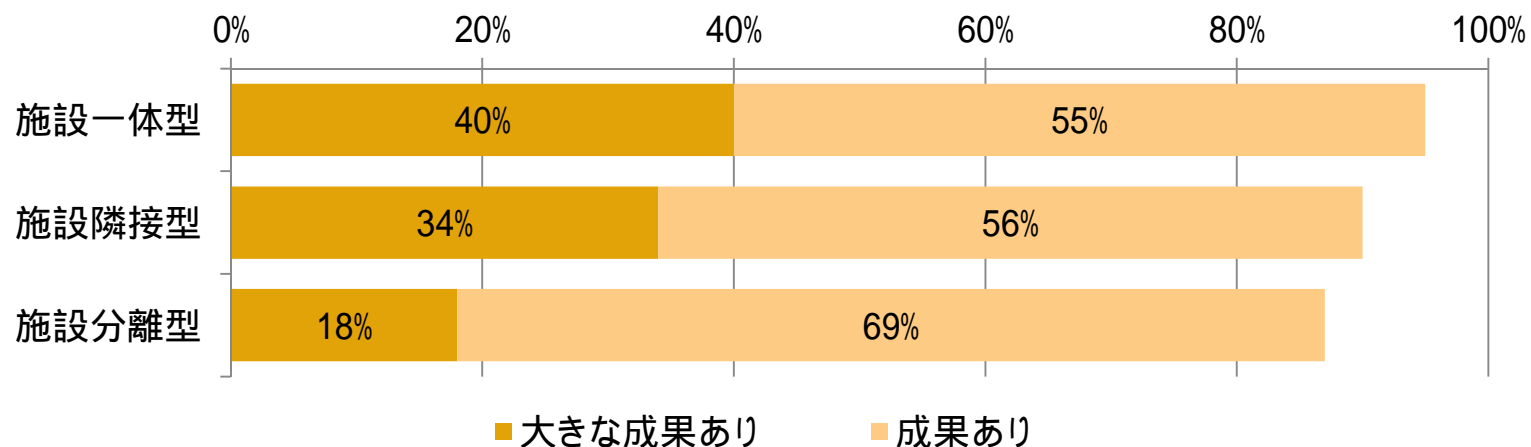


児童生徒の学校生活への満足度が高まった

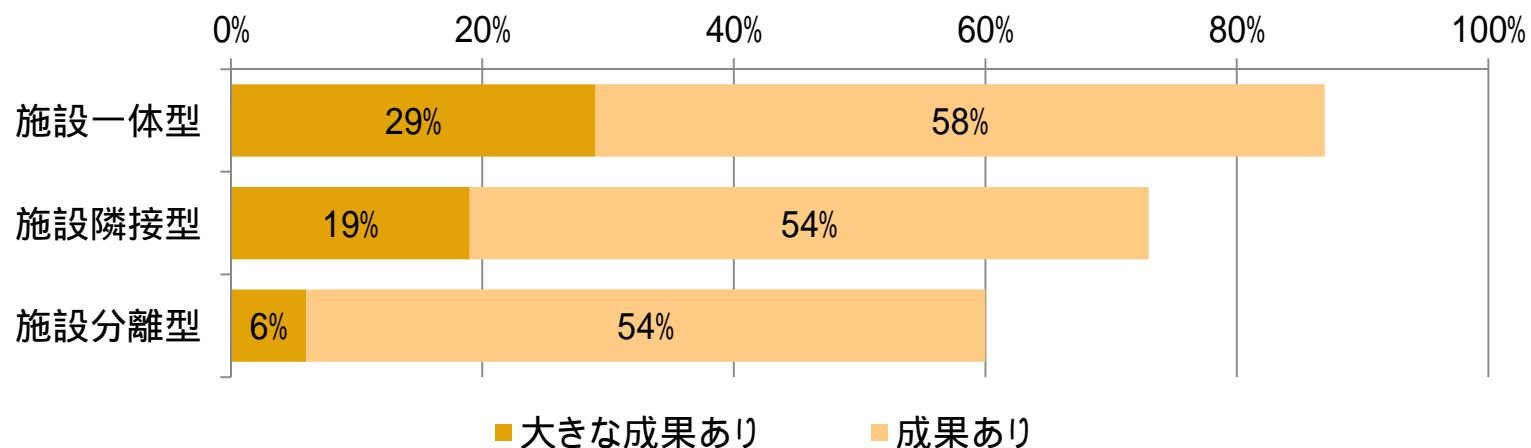


3 小中一貫教育等についての実態調査の結果

いわゆる「中1ギャップ」が緩和された

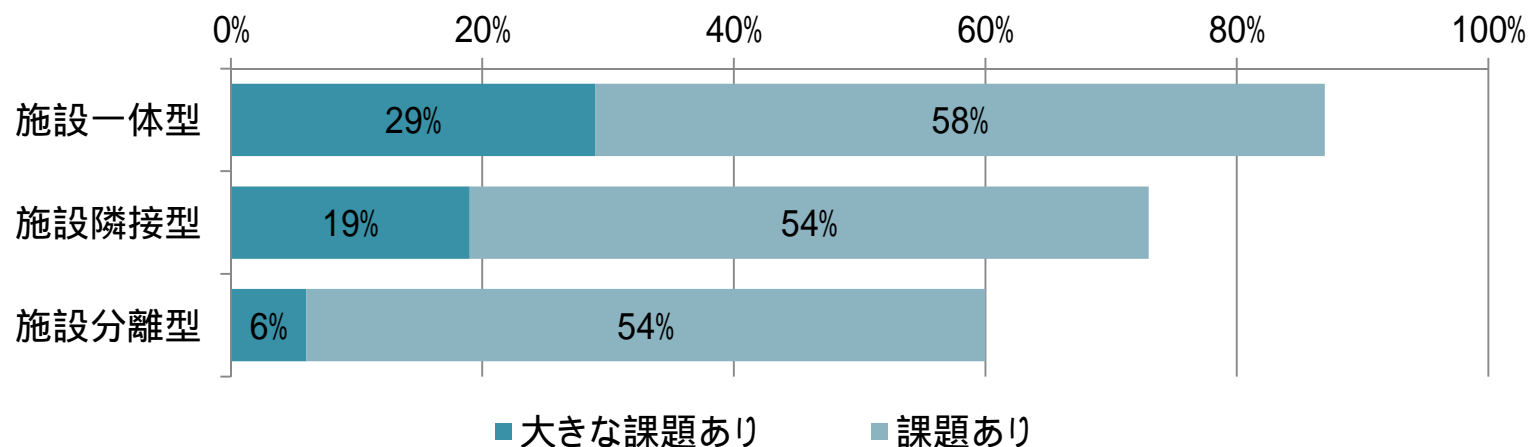


児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた

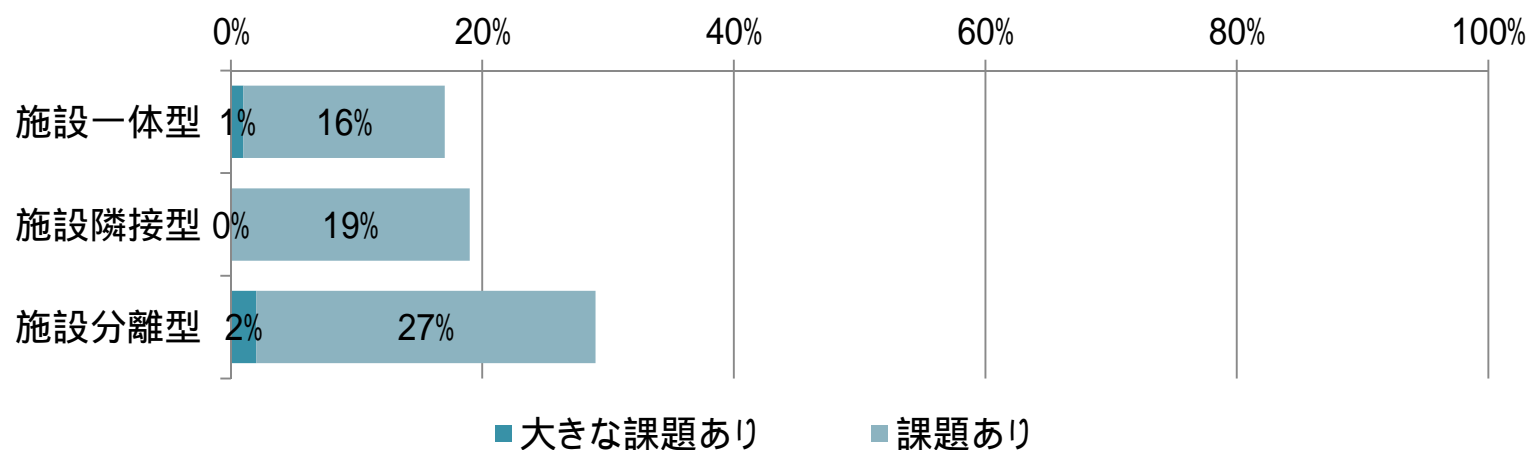


3 小中一貫教育等についての実態調査の結果

児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮

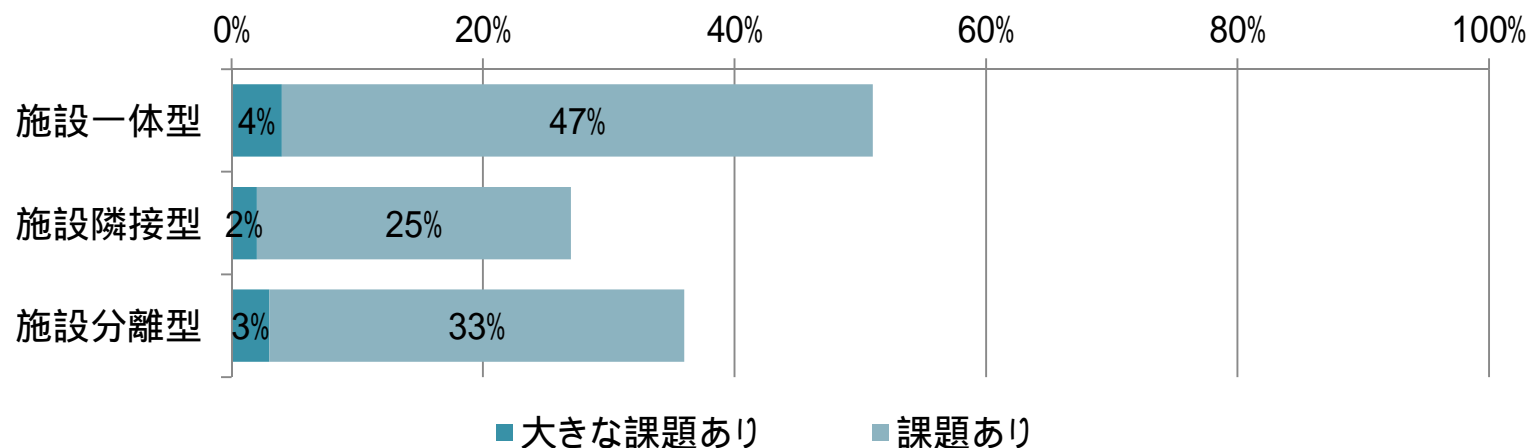


中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響

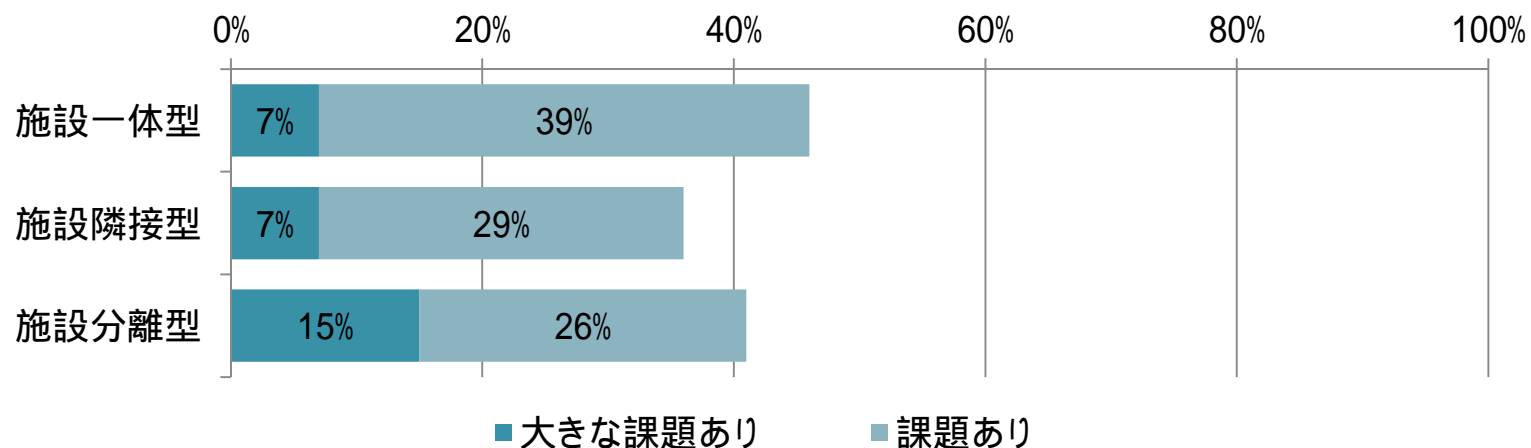


3 小中一貫教育等についての実態調査の結果

小学生高学年のリーダー性・主体性の育成



施設・スペース（教室、グラウンド等）の確保及び使用時間調整



4 施設一体型小中一貫教育校の目指す姿

(1) 踏まえるべきことと検討すべき事項

【踏まえるべきこと】

練馬区小中一貫教育推進方針「練馬型小中一貫教育の目指すもの」

地域の特性

これまでの小中一貫教育実践校としての取組

・芸術的な教育活動（大学連携） ・国際バカロレアの考え方 ・児童生徒交流 等

小中一貫教育校大泉桜学園の検証結果

練馬区公共施設等総合管理計画や練馬区学校施設管理基本計画等（現段階では素案）



【検討すべきこと】

学年の区切り

時程

教育課程

- ・教科等の指導と評価の計画
- ・先行事例から明らかになっている課題への対応
- ・生活指導の基本方針と具体的指導
- ・特別活動（児童・生徒会活動、クラブ活動、学校行事）の在り方
- ・異学年交流の在り方
- ・複合化された施設との交流

部活動

校章

校歌

教育目標

P T A、避難拠点運営委員会
等の組織

制服（標準服）等

4 施設一体型小中一貫教育校の目指す姿

練馬地区の小中一貫教育の先導役となる拠点校として、学力・体力・豊かな心が調和した学びの充実を実現する教育活動の実施

(1) 学力向上プログラムの実施

英語教育重点校の指定

独自の教育プログラムの作成による小学校第1学年からの英語教育

第9学年（中学校第3学年）卒業までに英検3級以上の取得を目標設定

国際交流友好都市「イプスウィッチ市（オーストラリア）」との交流推進

第5学年からの教科担任制の導入

基礎学力の定着を目指す取組

民間学習塾との連携による夜間スクール（補習授業）の実施

(2) 大学連携による芸術・体力向上プログラムの実施

芸術・体育の重点校の指定

音楽、図画工作、美術、体育・保健体育等の授業および部活動での人的活用

(3) 地域コミュニティ拠点としての魅力ある学校づくり

地域と連携した学校行事の実施

複合化施設の利点を生かした総合的な学習の時間等での交流活動

放課後活動の体験活動プログラムの実施（学童クラブとの連携）

校内開放の実施

区立学校としての平等性を維持しながらも、施設一体型小中一貫教育校としての特色ある学校経営・学校運営を展開

5 担当窓口および問い合わせ先

教育施策課

今後の対応方針案に関すること
その他全般

学務課

通学区域に関すること（学事係）
在校生の転校に関すること（学事係）
特別支援学級に関すること（就学相談係）

教育指導課

教育相談に関すること
進路指導に関すること
心のケアに関すること

問い合わせ先	電話番号	メールアドレス
教育施策課	5984-1034	ATGAKKO@city.nerima.tokyo.jp
学務課 学事係	5984-5659	GAKUMUKA@city.nerima.tokyo.jp
学務課 就学相談係	5984-5664	GAKUMUKA@city.nerima.tokyo.jp
教育指導課	5984-5759	SHIDOSHITSU@city.nerima.tokyo.jp